

コイノニア



もうすっかり夏になりましたね。熱さが増し、コロナ対策だけではなく、熱中症対策もしっかりしなければならぬ季節です。睡眠と食事と水分を取り、自己管理することが求められています。言い換えると、「自分のことを大切にすること」ではないでしょうか。

私たちはコロナ禍の生活を続ける中で、自分自身を大切に、自分の命を守るための行動を身につけてきました。そしてそのことが、「自分の大切な人の命を守ることになる！」ということも知りました。

7月の礼拝テーマは「私たちがつくる平和」ですが、聖書が教える「平和」は、「自分のことを大切にできて、自分らしくイキイキと生きること。」です。もちろん、戦争や争いをしないということも含まれますが、誰もが虐げられたり、差別されることのない世界を作っていくことが私たちに求められているのです。

「平和を実現する人々は、幸いである、 その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書5章9節

先日行われた生徒総会では「セクシャルマイノリティ」について全校で考えました。生徒会執行部のみなさんが一生懸命に準備をして「LGBTQ+」や「SOGIE」という言葉の説明や、セクシャル리티の悩みを抱えている友だちからの相談にどう答えれば良いか？など、本当に多くのことを発表してくれました。

その中で「セクシャル리티について考えることは、自分について考えることでもある！」と生徒会長が語っていましたが、私たちの学校でセクシャル리티の問題に取り組むとき、「自分のことを大切にできて、自分らしくイキイキと生きる。」という聖書に示された「平和」が実現すると思いました。

「私たちがつくる平和」な世界のために、みんなで聖書の言葉を実践していきましょう！

聖書・キリスト教の漢字～これなんて読むの？～ #04 「聖餐式」

「聖餐式」は「せいさんしき」と読みます。聖書には、イエス・キリストが十字架につけられる前に弟子たちと食べた「主の晩餐」について書かれていますがそのときイエスは、パンを自分の体を記念するものとして、また、杯(=ぶどう酒)を自分の血を記念するものとして弟子たちに与えました。後に「最後の晩餐」と呼ばれるようになった出来事です。

現代の教会ではこの出来事をおぼえて礼拝の中で、パンとぶどう酒(ぶどうジュースを使う教会もある)を分かち合い、イエス・キリストがいつも私たちと一緒にいてくださることを象徴として「聖餐式」という儀式を行っています。

7月の予定 月間聖句

「平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。」(マタイによる福音書5:9)

月間テーマ 「私たちがつくる平和」

- 5日(月) 高校野球壮行礼拝
- 12日(月) インターハイ壮行礼拝

松山学院ものがたり #04 創立者コーネリア・ジャジソン宣教師<1>

本校の創立者であるコーネリア・ジャジソン宣教師は、その生涯を通して「受けるよりは与える方が幸いである」という聖句を実践し、私たちの学校のために多くのものを献げた女性でした。

- 1860年10月20日 アメリカ、コネチカット州ストラットフォードで生まれる。
- 1861年 ストラットフォード第一組合教会で幼児洗礼を受け、信仰深い家庭で育つ。
- 1873年(13歳) ひどい肺炎を患い、死と直面する中で神に祈り、「多くの人々のために奉仕する」と決意。奇跡的に回復して勉学に励み、大学に進学する。
- 1887年 外国婦人宣教師団の一員として日本に旅立つ。
- 来日後、新潟女学院に勤務するが、同僚の宣教師の病死などから自信を失ってしまう。
- 1890年7月 松山に転出。松山組合基督教会(現・松山教会)に出席し、松山女学校(現・東雲中高)に勤務する。

1891年1月14日 本校(普通夜学会)を創立

☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆

花の日訪問の準備から

花の日訪問でお渡しする花束に添える色紙を作成中の生徒たち。宗教委員会・福祉科・寮生など多くの生徒たちが協力してくれました！



訪問先の牧病院で院長先生たちと一緒に

